

国立大学法人山形大学の中期計画新旧対照表

現 行	変 更 案	変更理由
<p>大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置</p> <p>3 その他の目標を達成するための措置</p> <p>(3) 附属学校に関する目標を達成するための措置</p> <p>1)教育・研究活動の基本方針</p> <p>3-3. <u>附属養護学校</u>においては、児童生徒のニーズと主体性とを尊重する授業づくりに取り組み、「個別支援計画」がより適切なものとなるよう工夫するために、同計画の見直しを年2回行う。</p> <p>2)学校運営の改善の方向</p> <p>2-3. <u>附属養護学校</u>児童・生徒と附属幼稚園・小学校・中学校の幼児・児童・生徒との恒常的な交流と共生を図るシステムを構築する。</p> <p>3-3. <u>附属養護学校</u>においては、新たな就学基準に対応した選抜方法を具体化する。</p> <p>3)地域社会との連携等</p> <p>1-4. <u>養護学校</u>では、特別支援教育や高等部卒業後の進路指導のための研修会を年2, 3回開催し、地域の学校にも開放し、公立学校教員の研修に寄与する。</p>	<p>大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置</p> <p>3 その他の目標を達成するための措置</p> <p>(3) 附属学校に関する目標を達成するための措置</p> <p>1)教育・研究活動の基本方針</p> <p>3-3. <u>附属特別支援学校</u>においては、児童生徒のニーズと主体性とを尊重する授業づくりに取り組み、「個別支援計画」がより適切なものとなるよう工夫するために、同計画の見直しを年2回行う。</p> <p>2)学校運営の改善の方向</p> <p>2-3. <u>附属特別支援学校</u>児童・生徒と附属幼稚園・小学校・中学校の幼児・児童・生徒との恒常的な交流と共生を図るシステムを構築する。</p> <p>3-3. <u>附属特別支援学校</u>においては、新たな就学基準に対応した選抜方法を具体化する。</p> <p>3)地域社会との連携等</p> <p>1-4. <u>附属特別支援学校</u>では、特別支援教育のセンター的機能を強化し、研修会の開催や教育相談活動の充実に努め、<u>地域の特別支援教育の推進並びに発展に寄与する。</u></p>	<p>国立大学法人 法施行規則の一部改正に基づく 校名変更</p> <p>学校教育法並びに国立大学法人施行規則の一部改正に基づく 変更</p>

国立大学法人山形大学の中期計画新旧対照表

現 行	変 更 案	変更理由
<p>・業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためにとるべき措置</p> <p>4 事務等の効率化・合理化に関する目標を達成するための措置</p> <p>2-2.事務の電算化を推進するとともに，IT（情報技術）を活用した事務処理の簡素化，迅速化を図る。また，平成17年6月29日に各府省情報化統括責任者（CIO）連絡会議において決定された「<u>独立行政法人等の業務・システム最適化実現方策</u>」を踏まえ，<u>主要な業務・システムの最適化を図る。</u></p>	<p>・業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためにとるべき措置</p> <p>4 事務等の効率化・合理化に関する目標を達成するための措置</p> <p>2-2.事務の電算化を推進するとともに，IT（情報技術）を活用した事務処理の簡素化，迅速化を図る。</p>	<p>平成18年 6月20日付文部科学省高等教育局国立大学法人支援課通知により、本学保有の主要な業務・システムは最適化の対象外となったため</p>

国立大学法人山形大学の中期計画新旧対照表

現 行		変 更 案		変更理由	
別表（収容定員）		別表（収容定員）			
平成19年度	人文学部	1,240人	人文学部	1,240人	工学部入学定員(BO-ス)の削減のため 医学系研究科看護学専攻博士後期課程設置による定員の増加及び看護学専攻修士課程を博士前期課程に変更するため 理工学研究科有機デバイス工学専攻の設置を始めとする博士前期課程の定員の増加のため
	地域教育文化学部	960人	地域教育文化学部	960人	
	(うち教員養成に係る分野 120)		(うち教員養成に係る分野 120人)		
	理学部	740人	理学部	740人	
	医学部	860人	医学部	860人	
	(うち医師養成に係る分野 600人)		(うち医師養成に係る分野 600人)		
	工学部	<u>2,806人</u>	工学部	<u>2,743人</u>	
	農学部	620人	農学部	620人	
	社会文化システム研究科	24人	社会文化システム研究科	24人	
	(うち 修士課程 24人)		(うち 修士課程 24人)		
教育学研究科	78人	教育学研究科	78人		
(うち 修士課程 78人)		(うち 修士課程 78人)			
医学系研究科	174人	医学系研究科	177人		
(うち 修士課程 32人)		(うち 修士課程 16人)			
博士課程 104人		博士課程 104人			
博士前期課程 20人		博士前期課程 36人			
博士後期課程 18人		博士後期課程 21人			
理工学研究科	637人	理工学研究科	682人		
(うち博士前期課程 538人)		(うち博士前期課程 583人)			
博士後期課程 99人		博士後期課程 99人			
農学研究科	96人	農学研究科	96人		
(うち 修士課程 96人)		(うち 修士課程 96人)			

現 行		変 更 案		変更理由	
別表（収容定員）		別表（収容定員）			
平成20年度	人文学部	1,240人	人文学部	1,240人	工学部入学定員(コース)の削減のため 医学系研究科看護学専攻博士後期課程設置による定員の増加及び看護学専攻修士課程を博士前期課程に変更するため 理工学研究科有機デバイス工学専攻の設置を始めとする博士前期課程の定員の増加のため
	地域教育文化学部	960人	地域教育文化学部	960人	
	理学部	740人	理学部	740人	
	医学部	860人 (うち医師養成に係る分野 600人)	医学部	860人 (うち医師養成に係る分野 600人)	
	工学部	<u>2,806人</u>	工学部	<u>2,680人</u>	
	農学部	620人	農学部	620人	
	社会文化システム研究科	24人 (うち 修士課程 24人)	社会文化システム研究科	24人 (うち 修士課程 24人)	
	教育学研究科	78人 (うち 修士課程 78人)	教育学研究科	78人 (うち 修士課程 78人)	
	医学系研究科	<u>174人</u> (うち 修士課程 32人 博士課程 104人 博士前期課程 <u>20人</u> 博士後期課程 <u>18人</u>)	医学系研究科	<u>180人</u> (うち 博士課程 104人 博士前期課程 <u>52人</u> 博士後期課程 <u>24人</u>)	
	理工学研究科	<u>637人</u> (うち博士前期課程 <u>538人</u> 博士後期課程 99人)	理工学研究科	<u>727人</u> (うち博士前期課程 <u>628人</u> 博士後期課程 99人)	
農学研究科	96人 (うち 修士課程 96人)	農学研究科	96人 (うち 修士課程 96人)		

現 行		変 更 案		変更理由	
別表（収容定員）		別表（収容定員）			
平成21年度	人文学部	1,240人	人文学部	1,240人	工学部入学定員(コース)の削減のため 医学系研究科看護学専攻博士後期課程設置による定員の増加及び看護学専攻修士課程を博士前期課程に変更するため 理工学研究科有機デバイス工学専攻の設置を始めとする博士前期課程の定員の増加のため
	地域教育文化学部	960人	地域教育文化学部	960人	
	理学部	740人	理学部	740人	
	医学部	860人 (うち医師養成に係る分野 600人)	医学部	860人 (うち医師養成に係る分野 600人)	
	工学部	<u>2,806人</u>	工学部	<u>2,640人</u>	
	農学部	620人	農学部	620人	
	社会文化システム研究科	24人 (うち 修士課程 24人)	社会文化システム研究科	24人 (うち 修士課程 24人)	
	教育学研究科	78人 (うち 修士課程 78人)	教育学研究科	78人 (うち 修士課程 78人)	
	医学系研究科	<u>174人</u> (うち 修士課程 32人 博士課程 104人 博士前期課程 <u>20人</u> 博士後期課程 <u>18人</u>)	医学系研究科	<u>183人</u> (うち 博士課程 104人 博士前期課程 <u>52人</u> 博士後期課程 <u>27人</u>)	
	理工学研究科	<u>637人</u> (うち博士前期課程 <u>538人</u> 博士後期課程 99人)	理工学研究科	<u>727人</u> (うち博士前期課程 <u>628人</u> 博士後期課程 99人)	
農学研究科	96人 (うち 修士課程 96人)	農学研究科	96人 (うち 修士課程 96人)		